授業概要

本科目では、東南アジアを取りあげ、古くから交通の要衝であったこの地域が、多くの外来者が訪れるなかで流入した外来の文化を各時代において、現地の住民が受容する、ないし、拒否をするといった取捨選択を行いながら、自らの持つ文化に融合させていく歴史を見ていくことで、現在にまで至る東南アジア諸地域の特徴が形成されたことを考察していく。

授業計画

第1回	東南アジアはどのような地域か?〔イントロダクション〕
第2回	近世以前の東南アジア①―インド人の活躍と「インド化」
第3回	近世以前の東南アジア②―東南アジアにおける仏教・ヒンドゥー教とその文化
第4回	近世以前の東南アジア③―中国人・華人の来航
第5回	近世東南アジア①―近世の到来と東南アジア地域の隆盛
第6回	近世東南アジア②―東南アジアにおける上座仏教とその文化
第7回	近世東南アジア③―東南アジアとイスラーム
第8回	近世東南アジア④―マレー人の活躍とマレー世界の展開
第9回	近世東南アジア⑤―中国人・華人の活躍
第10回	近世東南アジア⑥一欧米との接触
第11回	近・現代東南アジア①―東南アジアと欧米
第12回	近・現代東南アジア②―東南アジアの植民地化
第13回	近・現代東南アジア③―近代欧米植民地期における東南アジア地域の変化
第14回	近・現代東南アジア④―近代日本軍政期における東南アジア地域の変化
第15回	東南アジア地域の形成〔まとめ〕
第16回	筆記試験

到達目標

- 東南アジア各地域に関する歴史、また、その歴史を通じて形成された東南アジア地域の特徴が理解できる。
- ・日本・中国・インド・西アジア・ヨーロッパといった他の地域との関係について、それぞれ理解できる。

履修上の注意

授業の方針や進め方ならびに授業の詳細な内容は、初回授業時に出席者と相談して決めるため、初回の授業には必ず出席すること。

予習•復習

• 参考書

石井米雄・桜井由躬雄編 『東南アジア史 I - 大陸部』(新版 世界各国史 5) 池端雪浦編 『東南アジア史 II - 島嶼部』(新版 世界各国史 6)

(ともに、山川出版社 2004年)

評価方法

筆記試験 50%・コメントペーパー内容・30%・受講態度 20%

テキスト

• 参考書

石井米雄・桜井由躬雄編 『東南アジア史 I - 大陸部』(新版 世界各国史 5) 池端雪浦編 『東南アジア史 II - 島嶼部』(新版 世界各国史 6) (ともに、山川出版社 2004年)